



鶴田町長

相川 正光

年頭にあたって

明けまして おめでとうございます。謹んで年の初めのお祝いを申し上げます。皆さまには、すがすがしい新春をお迎えのことと心からお喜び申し上げます。

昨年を振り返ってみますと、元日の能登半島地震をはじめ、多くの自然災害が発生しました。町では、激甚化・頻発化する災害に備え、防災力を強化していくため、5月に野木地区の河川敷で、国・県・町主催の岩木川総合水防演習を2千名近い関係者参加のもと実施いたしました。これからもいつ起こるか分からない災害に備え、防災力の強化と防災意識の向上に努めてまいります。

基幹産業であります農業において、米については、天候に恵まれ、作況指数は津軽地域で「103」となり、平年並みの出来となりました。リンゴでは、主力品種のふじは品質が良好で価格も堅調に推移しました。スチューベンブドウでは、糖度も高く近年最高の出来となり、11月にはコロナ禍以降中断していた東京大田市場におけるトップセールスを5年ぶりに開催することが

できました。

次に、子育て支援につきましては、現在町では「学校給食の無償化」をはじめ3つの無償化を実施しております。さらなる子育て支援の拡充を図るため、昨年10月からは、県の子育て交付金を活用し、管内小中学校の「教材費助成事業」、「修学旅行費助成事業」、「新入学準備費用助成事業」と3つの助成事業を実施しております。

また、11月には、国の令和5年度補正予算に計上されたデジタル田園都市国家構想交付金を活用して、旧水元中央小学校の一部をサテライトオフィス等に改修するなど、個人事業者や起業家と住民が交流するスペースを備えた「鶴田町地域活性化支援センター」としての整備が完了し開所を迎えることができました。鶴田町地域活性化支援センターは、貸しオフィスやコワーキングスペース、シェアショップやイベントスペースを整備することで、個人事業者や起業家など、多種多様な業種・業界の人たちとの接触機会が増え、交流することで、情報交換やスキルアップ、あるいは新たな

ビジネスの創出といった機会を得ることが期待されます。

当町に移転して2年目となる下山学園高等学校は、校名を変更し普通科を新設して94名の新入生を迎えました。昨年はつるたまつりへの参加をはじめ町の魅力の発信にも積極的に取り組んでくださいました。町としても、地元の高校である下山学園高等学校に対し、連携を図りながら支援を継続してまいります。

本年も、町民の皆さまと共に知恵を出し合い、「挑戦なくして変化なし」の気持ちで、新たな地方創生をはじめ、未来に繋がる分野での取り組みを進めてまいります。併せて、物価高騰対策、更には少子化対策と子育て環境の充実により「若い世代から選ばれるまちづくり」の実現を目指して、誠心誠意努力してまいりますので、なお一層のご理解、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、本年も皆さまにとりまして健やかで幸多い年でありますようお祈り申し上げます。新年のあいさついたします。



鶴田町議会議長
加賀谷 忠榮

初春を迎えて

明けましておめでとうございます。令和7年の年頭にあたり、町議会を代表して謹んで新年のごあいさつを申し上げます。

町民の皆さまには、希望に満ちた輝かしい初春をお迎えのことと心からお慶び申し上げます。また、日頃より町議会に対しまして多大なるご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

昨年を振り返ってみますと、ようやく長いコロナ禍から抜けだし、町のイベントや各種団体の会合もいたるところで開催されるようになり、町も活気を取り戻した一年でありました。

5月には、東北最大級の総合水防演習として、我が町で「岩木川総合水防演習」が開催されました。昨年は大きな自然災害はなかったものの、この実践的な水防演習が、万一の災害のときに役に立つよう、また地域住民の防災意識向上につながることを切に願うものでございます。

町の基幹産業である農業であります。コメについては、天候に恵まれたことなどから、津軽地域の作況指数は103の「や

や良」と豊作基調となりましたが、燃料や肥料の価格高騰が続く中、外食産業による需要も増加し、端境期には全国的にコメが在庫不足となるなど「令和のコメ騒動」と騒がれ、店頭販売価格も驚くほどの高値となりました。つがるにすぎた農協におけるコメの生産者概算金についても、「まっしぐら」「はれわたり」が15,000円、「青天の霹靂」が17,100円で過去最大の金額となっております。

リンゴについては、主力品種「ふじ」を中心に着果状況が心配され、7月には議会総務経済常任委員会でも園地調査に出向きましたが、全般的に順調に生育し、仕上がりは良好とのこと、前年に続き高値傾向で取引されております。

スチューベンについても、天候に恵まれ、糖度が高く仕上りは上出来だと聞いております。

11月には、令和2年の小学校統廃合に伴い、廃校となりました旧水元中央小学校が、地域活性化支援センター「ツルタラボ」として生まれ変わりました。当施設が、新た

な事業の創出や交流の場として、多くの方々に利用され、町活性化に寄与する施設となるよう期待するところであります。

町議会は、昨年の改選により新人議員5名を含む総勢12名で、議長・副議長をはじめ各委員会の構成など、新たな体制となっております。議会では、デジタル化社会に対応すべくタブレット端末を利用した会議を推進し経費削減に努めるほか、住民の代表機関として開かれた議会を目指し、町広報誌による議会活動報告や定例会開催予定日の早期公表など、積極的な情報発信に取り組んでおります。今後も、議会改革に努めながら、行政への監視機能の役割を十分発揮するとともに、町民の皆さまの意思を町政に反映させるため、議員一同全力を尽くしてまいります。

結びにあたり、本年が町民の皆さまにとりまして健やかで幸多き一年でありますようお祈り申し上げ、新年のあいさついたします。